

氏名 岩崎 淳
授与した学位 博士
専攻分野の名称 医学
学位授与番号 博甲第 3784 号
学位授与の日付 平成21年3月25日
学位授与の要件 医歯学総合研究科生体制御科学専攻
(学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目 Relationship between Circulating Levels of Monocyte Chemoattractant Protein-1 and Systolic Dysfunction in Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy
(肥大型心筋症患者に見られる収縮不全と血中monocyte chemoattractant Protein-1濃度の関係)

論文審査委員 教授 佐野 俊二 教授 氏家 良人 准教授 横山 正尚

学位論文内容の要旨

肥大型心筋症 (HCM) は進行に伴い、時に左室拡張や収縮不全を引き起こす。現在、肥大から収縮不全に移行する機序は解明されていない。マクロファージ集積促進因子である単球走化性因子(MCP-1)はうっ血性心不全患者で高値を示すことが報告されている。今回、26名のHCM患者と20名の対照患者における血中MCP-1濃度および心筋のMCP-1発現について検討を行った。HCM患者において有意に血中MCP-1濃度の高値を認めた ($P<0.001$)。特にHCM患者のうち収縮不全患者で有意に血中MCP-1濃度の高値を認めた ($P<0.05$)。また、左室流出路狭窄患者と比較し、収縮不全患者で有意に血中MCP-1濃度の高値を認めた。免疫組織学的解析にて左室収縮不全を伴うHCM患者の心筋からMCP-1の発現が認められた。さらに、血中MCP-1濃度は、エコーにおける短縮率と反比例関係 ($r=-0.401$, $P<0.05$)、また心臓カテーテル検査における左室拡張末期圧と比例関係 ($r=0.579$, $P<0.01$) にあった。HCM患者において、左室収縮不全の一因としてMCP-1の関与が示唆された。

論文審査結果の要旨

本論文は、単球走化性因子 (MCP-1) の肥大型心筋症 (HCM) 患者に対する関与についての retrospective な追跡調査の報告である。

26名のHCM患者と20名の対象患者における血中MCP-1濃度および心筋のMCP-1発現について検討を行うと、HCM患者それも特に左室収縮不全を伴う患者で有意に血中MCP-1濃度の高値を認めた。また、免疫組織学的解析にて左室収縮不全を伴うHCM患者の心筋からMCP-1の発現が認められた。

これらの結果により、MCP-1はHCM患者の収縮不全に関与しており、発病機序への関与が示唆された。本論文はこのようにMCP-1のHCM関与に重要な知見を得た価値ある業績であると思われる。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。